



さだボイス



作者：娘 3月号

(鈴木さだはる後援会だより No.34)

ごあいさつ

日頃は「鈴木さだはる後援会」に対し、ご支援ならびにご協力を賜り感謝申し上げます。

3月議会、開会中です。今議会では、3月補正予算に加えて、令和8年度当初予算、746億6,300万円の一般会計で前年度当初予算と比較し0.6%の減、特別会計及び企業会計を合わせた全会計の総額は、1,128億6,287万9千円で、前年度と比較して1.6%増の提案が上程されています。予算審議は、各常任委員会に付託され審議されます。予算審査特別委員会の動向に注視いただければと思います。

※言葉の説明 当初予算…年間の行政執行するための予算計画

特別会計…国民保険・後期高齢者医療・介護保険会計 他予算

企業会計…水道・下水道事業会計

【議会情報】

3月議会開催中（～3月23日（月））

本会議にて質問質疑（2/25）… テーマ 1「防災に関する取組について」

◇有事の際に使用する防災無線と避難所運営などについて確認と要望しました。

（一部抜粋）

Q1) 有事の際に使用する防災無線の現状は？

A1) 市から各地区に配備している防災行政無線のMCA無線は、広域的かつ安定した双方向通信が可能であり、災害時における通信混雑の影響を受けにくい業務用無線で、現在は、災害対策本部となる市役所をはじめ、防災関係機関や避難所等へ配備し、迅速かつ確実な情報伝達体制を確保している。

*1



Q2) 通信方法や通信内容等、通信する際にはどの様に取り組まれているか？

A2) MCA無線機の活用方法について、市職員に配付している災害時職員行動ハンドブックに記載しており、物資輸送や避難所開設の各訓練で、無線機を活用した通信確認を実施している他、消防団においても、毎年の訓練時に無線機での通信訓練を行っている。

Q3) 防災無線の設置部屋の地震対策は？

A3) MCA無線機は、主に市役所や小中学校等の指定避難所、消防団の詰所等の公共施設に配備しており、それらの施設の耐震対策は完了している。

Q4) 無線本体の設置について、耐震など安全性は確保できているか？

A4) MCA無線機は防塵、防水性が高い上に、衝撃に強い性能を備えており、地震により台からの落下等の衝撃を受けた場合においても利用できる仕様となっている。

※1；MCA無線（Multi-Channel Access（マルチ・チャンネル・アクセス）無線システム）とは、一般財団法人移動無線センター（MRC）が1982年から提供してきた業務用無線通信サービスで、物流、建設、自治体、ライフライン業などで情報共有や災害時通信手段として活用されてきました。特徴として、専用の通信回線を利用するため、携帯電話回線が混雑しても安定した通話が可能であり、全国117箇所の中継局により広域通信を実現。

Q5) 在宅避難での注意点と市民への展開は、今後どのように進めるか？

A5 在宅避難のための事前の備えや自宅で避難生活をするための流れ、注意点等を記載した在宅避難者用のパンフレットを作成し、ホームページにて公開をしている。災害時には、避難所に避難されてくる方への支援だけでなく、在宅避難や車中泊避難されている方へも情報共有や物資を支給する必要があると考えている。引き続き、各自主防災会とも連携することで、在宅避難者や車中泊避難者の把握や支援方法を検討するとともに、地域全体で支え合える体制の整備に努める。

Q6) 安否確認を行う上で注意すべき点は？

A6 夜などの発災であれば、家族の方が家にいる割合が高く、安否確認がしやすいと思われるが、日中の発災の場合は、学業や仕事のため家族の方が在宅ではないケースもある。このような場合に備えて、災害用伝言ダイヤルなど安否を知らせるツールの活用や、災害時に家族で連絡を取り合えるよう平常時より準備していただくこと、また各地域での訓練等において、隣近所との普段からの顔の見える関係を作っていただく重要性について、周知に努めていく。

さだの考え・・・災害はいつ発災するかわからない中、各自主防災会の繋がりが、各地区にいる市民の生命、安全を確保することになる。加えて、避難所運営を考えたときに避難所に避難して見える方々の協力も重要。自主防災会を通じて、市民の方々への協力の呼びかけも市全体で展開、防災力の更なる向上で繋がっていければと思う。市民の方が、有事の際に慌てることなく安全で安心して暮らせる環境整備が必要。

テーマ2「子育て支援について」

◇幼少期から年代に合わせた、木育^{*2}（もくいく）導入を要望。

※2；木育（もくいく）とは、木や森林とふれあい、感性や心を育む教育概念。具体的には、木のぬくもりや香りを体験し、木製品に触れることで、自然の大切さや環境への関心を高めることが目的。子どもから大人までが木と生きるライフスタイルを通じて、豊かな心を育てることを目指している。



Q1) 発育・成長に対する遊具や設備についてどのように考えているか？

A1 中央子育て支援センターでは、大型マットやウレタンのブロック、木製の滑り台やネット遊具などを設置しており、ハイハイやつたい歩きなど、お子さんの成長段階ごとにエリアを分けて、設けられたエリアごとにそれぞれの成長段階に応じた遊具やおもちゃを設置。また、中央子育て支援センター以外の南部、北部の子育て支援センターや各広場についても、工夫を凝らした手作りおもちゃなどを設置。

Q2) 木製遊具に対して市はどのように考えているか？

A2 木と触れ合うことは、五感を通じて木の温もりや香り、手触りを感じることで情緒の安定や知育効果を得るもの。中央子育て支援センターにおいては、既に木製の遊具を一部設置しているが、遊具やおもちゃを更新する際には、布やウレタンなどの様々な素材や形状、遊び方を検討するなかで、木製遊具についても選択肢の一つとして検討していく。

さだの考え・・・刈谷で生まれ、刈谷で育ち、刈谷で生涯暮らすことが出来る環境づくりをすることが、「住みやすいまち」、「住み続けたいまち」になっていく、そのスタートともいえる、子育て支援の取組が重要。

【3月の予定】

～3/23 3月定例議会
6日 中学校卒業式
7日 地区グランドゴルフ大会
8日 刈谷市消防団閲覧式
16日 刈谷知立環境組合議会
18日 幼稚園修了式
19日 小学校卒業式

【3月の暦】

3日 桃の節句
5日 啓蟄
17日 彼岸
20日 春分の日

【あとがき】一部地域で水不足の情報がある中、気象庁が発表した3月～5月の3か月予報では、平均気温は、北日本で高い確率50%、東・西日本で高い確率60%、降水量降水量は、西日本太平洋側で平年並または少ない確率ともに40%ということです。今後の気象状況を注視する必要があります。

早いもので3月に入り、ほとんどの各学校の卒業式が行われます。また、年度末でもあり、新しい道へとステップアップされる方や新たなステージで過ごされる方もたくさんいると思います。今までの仲間と別れがある中、一方で新しい出会いもある季節でもあります。すべての皆さまにとって素晴らしい季節になるようにご祈念申し上げます。